

城西大学総務課／TEL.049-271-7712

女性が輝く社会に向けた国際シンポジウム 地方展開 〈女性の力で地域が輝く〉埼玉県から発信！

講演テーマ 「女性の力で地域が輝く」

講演要旨 女性が輝く社会に向かうためには、地域においても女性の活躍が欠かせません。埼玉県は、首都圏に近く人口も多く、大きな発信力を持つエリアです。この貴重な機会に女性の力を結集し、地方が輝くためのメッセージを今回WAW! Tokyo 2014で来日中の世界的に高名な2名の女性リーダーから、いただくことにいたしました。

引き続きディスカッションでは、講演者2名と学校法人城西大学理事長水田宗子氏をコーディネータとし、女性が働くことによる経済効果や働き方、また医療、福祉の問題等について、多様な観点から討議いただきます。

プログラム 14:00 主催者挨拶

14:05 講演 ミレア・ソリス氏（米国）（ブルッキングス研究所シニア・フェロー）
レオノール・ベレーザ氏（ポルトガル）（シャンパリモー財団理事長）

14:50 ディスカッション〈コーディネータ：水田宗子氏（学校法人城西大学理事長）〉

※プログラムは全て同時通訳形式で実施します。

〈講演者紹介〉



ミレア・ソリス氏

（ブルッキングス研究所シニア・フェロー）

日本の対外経済政策の専門家。エル・コレヒオ・デ・メキシコ大学にて国際関係の学士号を取得後、ハーバード大学にて東アジア研究の修士号、政治学の博士号を取得。主な研究分野は、日本の政治経済、外交政策、国際比較政治経済学、国際関係。日米関係にも幅広い知見あり、「Banking on Multinationals: Public Credit and the Export of Japanese Sunset Industries」(スタンフォード大学出版、2004年)を始め、近年の経済危機、日本の国内政治と対外経済政策、東アジア多国間主義に関する数多くの書籍や記事を執筆している。



レオノール・ベレーザ氏

（シャンパリモー財団理事長）

ポルトガル共和国議会副議長や保健大臣、社会保障副大臣などの要職を務めたほか、女性の権利を擁護する問題に積極的に関与し、2004年より、シャンパリモー財団（注）の理事長を務めている。

（注）20世紀のポルトガルの大富豪・故アントニオ・ソメル・シャンパリモー氏（1918-2004）の遺志により設立・運営されている財団、脳神経科学とガンの最先端医療研究施設をもち、世界中から気鋭の研究者を集め、日本からも3名の研究者が脳神経科学の研究を行っている。